

みやまの家の家

「みんなの家」をつくろう

東日本大震災の発災後、被災地では厳しい仮設住宅での暮らしが続けられていました。建築家でくまもとアートポリスコミッショナーである伊東豊雄氏が、そのような被災地の現状を知り、家を失った方が心の安らぎを得られるような場所を提供することで、少しでもその辛さを和らげることができないかという想いが形となったのが「みんなの家」をつくろうというプロジェクトです。熊本県では、この伊東豊雄コミッショナーからの提案に賛同し、くまもとアートポリスの初めての県外事業として、熊本県内の建築関係団体や学生などのボランティアと連携しながら、仙台市宮城野区福田町一丁目の公園に建設された仮設住宅団地に住民の方の憩いの場として「みんなの家」を建設しました。



PHOTO/伊藤トオル